

事務連絡 23-8号
2023年8月23日

加盟組織 御中

第21回全国介護学習交流集会への参加のお願い

中央社会保障推進協議会
事務局長 林 信悟

連日のご奮闘に敬意を表します。

介護保険スタートから23年、「介護の社会化」、「自己選択と決定の介護保険」とうたわれて始まった制度は、相次ぐサービスの削減と利用料引き上げで、必要な介護サービスを受けることすらおぼつかないものになりつつあります。

政府が当初提案した介護保険制度の改悪案は、反対世論の広がりの中で先送りとなり、利用料2割負担の対象拡大、一定の所得以上の高齢者への保険料引き上げについて引き続き検討し、2023年末までに結論を出すとしています。利用者・事業者双方に新たな負担を押しつけるものであり、断じて認めることはできません。

介護従事者の処遇改善は待ったなしの課題です。行き届いた介護を実現するためには、社会保障費を大幅に増やし、介護保険制度の抜本改善、介護従事者の大幅な処遇改善と増員を図ることが何よりも必要です。このような要求を掲げ、第21回全国介護学習交流集会を行います。

記

- 日時 2023年10月09日(月・祝) 13:30~16:30
- 場所 全労連会館 2階ホール
※ 会場参加のほかに、ZOOM・YouTubeで視聴参加できます。詳しくはチラシを参照
- スローガン
サービス削減、利用料と保険料の引き上げ許すな！
～利用者も事業者も労働者も笑顔で元気な介護制度に～
- 記念講演「介護報酬改定の動きと狙い」
鎌田 松代 氏(厚生労働省社会保障審議会介護給付費分科会委員・認知症のひと家族の会代表)
- シンポジウム「事業者・利用者・労働者の共同で制度改善をめざそう」
コーディネーター 林 信悟 氏(中央社保協事務局長)

以上